



2025年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年5月14日

上場会社名 株式会社フーディソン 上場取引所 東
コード番号 7114 URL https://foodison.jp/
代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 山本 徹
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO兼経営管理部長 (氏名) 内藤 直樹 TEL 050-1754-1990
定時株主総会開催予定日 2025年6月27日 配当支払開始予定日 -
有価証券報告書提出予定日 2025年6月30日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期の連結業績 (2024年4月1日～2025年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	6,866	8.1	167	△14.7	169	△13.9	142	△25.5
2024年3月期	6,351	20.3	196	43.7	196	40.6	191	90.0

(注) 包括利益 2025年3月期 142百万円 (△25.5%) 2024年3月期 191百万円 (90.1%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年3月期	31.62	30.88	6.4	5.1	2.4
2024年3月期	43.10	41.10	9.3	6.1	3.1

(参考) 持分法投資損益 2025年3月期 -百万円 2024年3月期 -百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	3,217	2,292	71.2	505.21
2024年3月期	3,407	2,196	64.5	484.95

(参考) 自己資本 2025年3月期 2,291百万円 2024年3月期 2,196百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	74	△2	△337	2,035
2024年3月期	127	△43	22	2,301

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2025年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2026年3月期 (予想)	-	0.00	-	0.00	0.00		-	

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,000	16.5	220	31.4	220	30.1	180	26.1	39.85

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2025年3月期	4,595,140株	2024年3月期	4,530,340株
2025年3月期	60,133株	2024年3月期	59株
2025年3月期	4,516,691株	2024年3月期	4,448,242株

(参考) 個別業績の概要

1. 2025年3月期の個別業績（2024年4月1日～2025年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	6,848	8.1	118	△2.0	163	△13.0	134	△32.7
2024年3月期	6,337	20.4	120	△10.9	187	34.5	200	98.4

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期	29.78	29.09
2024年3月期	44.96	42.87

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	3,289	2,292	69.7	505.21
2024年3月期	3,445	2,205	64.0	486.78

(参考) 自己資本 2025年3月期 2,292百万円 2024年3月期 2,205百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	7
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	8
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(1株当たり情報)	10
(重要な後発事象)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、経済活動の正常化を背景に、緩やかに回復基調を示しました。一方で、国際的にはロシア・ウクライナ情勢の長期化や中東地域の不安定化、米国の保護主義的な通商政策への懸念など、不透明な要因が継続しており、国内外経済の先行きには依然として注意が必要な状況です。

当社グループが属する食産業においては、コロナ禍で大きく減退した個人消費が回復し、訪日外国人観光客によるインバウンド需要も増加傾向にあります。しかしながら、長期化する原材料費やエネルギーコストの高騰など事業を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような事業環境のなか、当社グループは「世界の食をもっと楽しく」をミッションとし、「生鮮流通に新しい循環を」をビジョンに掲げ、事業運営に取り組んでまいりました。

BtoBコマースサービスでは、新規ユーザーの獲得および休眠ユーザーの掘り起こしなど、アクティブユーザー数の増加に向けた施策を実施いたしました。BtoCコマースサービスでは、商品構成の改善やイベントによる集客強化を進め、既存店の売上維持とともに、新店舗の出店も行い、都市型小売の展開を拡大しました。HRサービスにおいては、生鮮スーパーマーケットや飲食店に特化した人材紹介業を展開し、営業活動の強化を通じて顧客基盤の拡大をしました。

これらの結果、当社グループの当連結会計年度における経営成績は、売上高6,866,324千円（前年同期比8.1%増）、営業利益167,387千円（前年同期比14.7%減）、経常利益169,042千円（前年同期比13.9%減）、親会社株主に帰属する当期純利益142,798千円（前年同期比25.5%減）となりました。

主要なサービス別の概況は以下のとおりであります。当社グループは生鮮流通プラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメントごとに記載しておらず、サービス別に区分して記載しております。

① BtoBコマースサービス

当連結会計年度における売上高は5,471,053千円（前年同期比9.9%増）となりました。

魚ボチのアクティブユーザー数が堅調に推移した結果、売上高は前連結会計年度と比較して増加いたしました。

② BtoCコマースサービス

当連結会計年度における売上高は1,004,869千円（前年同期比0.3%増）となりました。

2023年9月に1店舗を閉店した影響はありましたが、その他の店舗が比較的好調に推移したため、売上高は前連結会計年度と比較して微増いたしました。なお、2025年3月末時点において9店舗を運営しております。

③ HRサービス

当連結会計年度における売上高は390,401千円（前年同期比5.7%増）となりました。

既存エリアにおけるスーパーマーケットや小売店への営業に加え飲食店への営業も進捗した結果、売上高は前連結会計年度と比較して増加いたしました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における総資産は3,217,623千円（前連結会計年度末：3,407,786千円）となり、前連結会計年度末と比較して190,162千円の減少となりました。

流動資産は2,893,110千円（前連結会計年度末：3,089,506千円）となり、前連結会計年度末と比較して196,395千円の減少となりました。主な要因として、売掛金が33,625千円、商品が40,182千円及び未収入金が10,692千円増加した一方で、現金及び預金が285,776千円減少したこと等によります。

固定資産は324,512千円（前連結会計年度末：318,279千円）となり、前連結会計年度末と比較して6,233千円の増加となりました。主な要因として、有形固定資産が4,795千円、投資その他の資産のその他に含まれる敷金が3,500千円増加した一方で、繰延税金資産が1,320千円減少したこと等によります。

(負債)

当連結会計年度末における負債は925,321千円（前連結会計年度末：1,210,824千円）となり、前連結会計年度末と比較して285,503千円の減少となりました。

流動負債は622,838千円（前連結会計年度末：877,625千円）となり、前連結会計年度末と比較して254,787千円の減少となりました。主な要因として、未払金が29,085千円、株主優待引当金が9,292千円増加した一方で、一年内返済予定長期借入金が253,100千円、未払法人税等が14,583千円減少したこと等によります。

固定負債は302,483千円（前連結会計年度末：333,198千円）となり、前連結会計年度末と比較して30,715千円の減少となりました。主な要因として、資産除去債務が3,557千円増加した一方で、長期借入金が31,890千円減少したこと等によります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は2,292,302千円（前連結会計年度末：2,196,961千円）となり、前連結会計年度末と比較して95,341千円の増加となりました。主な要因として、自己株式の取得により88,838千円減少した一方で、資本金及び資本剰余金がそれぞれ20,100千円増加したこと、親会社株主に帰属する当期純利益を計上したことにより142,798千円増加したこと等によります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ265,776千円減少し、2,035,954千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は74,119千円となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益169,042千円、減価償却費26,511千円、仕入債務の増加額13,919千円等の増加要因と、棚卸資産の増加額40,317千円、法人税等の支払額39,367千円、売上債権の増加額33,625千円等の減少要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は2,530千円となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入20,000千円等の増加要因と、有形固定資産の取得による支出16,872千円、敷金及び差入保証金の差入による支出13,500千円等の減少要因によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は337,365千円となりました。これは主に、株式の発行による収入40,200千円の増加要因と、長期借入金の返済による支出284,990千円、自己株式の取得による支出88,838千円等の減少要因によるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきまして、国内経済は緩やかな回復基調を取り戻しつつありますが、国際情勢や金融市場の変動など、不確実性の高い外部要因の影響が続くものと見込まれます。とりわけ、地政学的リスクや為替動向の変化が、国内景気を下押しする要因となる可能性があるため、慎重な見極めが必要な状況が継続すると予想されます。

このような環境下において、翌連結会計年度においては、BtoBコマースサービスにおける積極的な営業やマーケティング、プロダクト改善等によるアクティブユーザーの拡大等、BtoCコマースサービスにおける既存アセットを活用した店舗の売上高及び利益率向上や地方創生イベントの受託等、HRサービスにおける生産性向上等、流通インフラの基盤構築を図ってまいります。

以上により、翌連結会計年度（2026年3月期）の連結業績見通しにつきましては、売上高8,000,000千円（前年同期比16.5%増）、営業利益220,000千円（同31.4%増）、経常利益220,000千円（同30.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益180,000千円（同26.1%増）を予想しております。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,341,730	2,055,954
売掛金	571,990	605,616
商品	133,986	174,168
貯蔵品	1,057	1,192
未収入金	11,717	22,409
その他	29,380	33,769
貸倒引当金	△356	—
流動資産合計	3,089,506	2,893,110
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	218,081	226,357
減価償却累計額	△34,902	△47,360
建物及び構築物（純額）	183,178	178,996
機械装置及び運搬具	2,559	2,559
減価償却累計額	△1,860	△2,295
機械装置及び運搬具（純額）	698	263
工具、器具及び備品	64,137	77,648
減価償却累計額	△41,468	△49,455
工具、器具及び備品（純額）	22,668	28,192
リース資産	19,651	19,651
減価償却累計額	△7,972	△11,348
リース資産（純額）	11,679	8,303
建設仮勘定	—	7,265
有形固定資産合計	218,226	223,021
無形固定資産		
商標権	541	419
ソフトウェア	718	369
無形固定資産合計	1,259	788
投資その他の資産		
繰延税金資産	12,806	11,486
その他	89,220	92,449
貸倒引当金	△3,233	△3,233
投資その他の資産合計	98,793	100,702
固定資産合計	318,279	324,512
資産合計	3,407,786	3,217,623

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	297,814	311,733
1年内返済予定の長期借入金	284,990	31,890
リース債務	3,736	3,636
未払金	86,979	116,065
未払費用	86,920	73,564
未払法人税等	32,585	18,001
契約負債	28,444	17,721
株主優待引当金	—	9,292
返金負債	2,765	6,444
その他	53,390	34,488
流動負債合計	877,625	622,838
固定負債		
長期借入金	185,840	153,950
リース債務	9,935	6,298
資産除去債務	136,588	140,146
その他	835	2,088
固定負債合計	333,198	302,483
負債合計	1,210,824	925,321
純資産の部		
株主資本		
資本金	857,562	877,662
資本剰余金	1,644,661	1,367,927
利益剰余金	△305,113	134,519
自己株式	△149	△88,988
株主資本合計	2,196,961	2,291,121
新株予約権	—	1,181
純資産合計	2,196,961	2,292,302
負債純資産合計	3,407,786	3,217,623

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上高	6,351,673	6,866,324
売上原価	4,059,402	4,413,535
売上総利益	2,292,271	2,452,789
販売費及び一般管理費	2,096,037	2,285,401
営業利益	196,233	167,387
営業外収益		
受取利息	22	1,124
受取保険金	424	237
講演料等収入	1,154	966
違約金収入	2,000	1,616
その他	313	1,199
営業外収益合計	3,914	5,143
営業外費用		
支払利息	3,611	3,111
その他	162	377
営業外費用合計	3,774	3,488
経常利益	196,373	169,042
特別利益		
固定資産受贈益	41,122	—
特別利益合計	41,122	—
特別損失		
固定資産除却損	93	0
減損損失	5,575	—
店舗閉鎖損失	2,195	—
特別損失合計	7,864	0
税金等調整前当期純利益	229,631	169,042
法人税、住民税及び事業税	36,867	24,924
法人税等調整額	1,032	1,320
法人税等合計	37,899	26,244
当期純利益	191,731	142,798
親会社株主に帰属する当期純利益	191,731	142,798

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
当期純利益	191,731	142,798
包括利益	191,731	142,798
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	191,731	142,798

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	826,762	1,613,861	△496,845	△149	1,943,629	1,943,629
当期変動額						
新株の発行(新株予約権の行使)	30,800	30,800			61,600	61,600
親会社株主に帰属する当期純利益			191,731		191,731	191,731
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						
当期変動額合計	30,800	30,800	191,731	-	253,331	253,331
当期末残高	857,562	1,644,661	△305,113	△149	2,196,961	2,196,961

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	857,562	1,644,661	△305,113	△149	2,196,961	-	2,196,961
当期変動額							
新株の発行(新株予約権の行使)	20,100	20,100			40,200		40,200
資本剰余金から利益剰余金への振替		△296,833	296,833		-		-
親会社株主に帰属する当期純利益			142,798		142,798		142,798
自己株式の取得				△88,838	△88,838		△88,838
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						1,181	1,181
当期変動額合計	20,100	△276,733	439,632	△88,838	94,159	1,181	95,341
当期末残高	877,662	1,367,927	134,519	△88,988	2,291,121	1,181	2,292,302

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	229,631	169,042
減価償却費	24,730	26,511
減損損失	5,575	—
株式報酬費用	—	1,181
固定資産除却損	93	0
店舗閉鎖損失	2,195	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	50	△356
株主優待引当金の増減額(△は減少)	—	9,292
返金負債の増減額(△は減少)	△1,634	3,678
固定資産受贈益	△41,122	—
受取利息	△22	△1,124
支払利息	3,611	3,111
売上債権の増減額(△は増加)	△81,349	△33,625
棚卸資産の増減額(△は増加)	△37,162	△40,317
未収入金の増減額(△は増加)	△1,557	△10,692
仕入債務の増減額(△は減少)	43,151	13,919
その他	34,884	△27,345
小計	181,076	113,275
利息の受取額	18	952
利息の支払額	△3,639	△3,106
店舗閉鎖損失の支払額	△1,831	—
法人税等の支払額	△47,907	△39,367
法人税等の還付額	—	2,365
営業活動によるキャッシュ・フロー	127,716	74,119
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	20,000
有形固定資産の取得による支出	△17,798	△16,872
無形固定資産の取得による支出	—	△260
敷金及び保証金の差入による支出	△28,796	△13,500
敷金及び保証金の回収による収入	3,315	10,000
その他	△517	△1,897
投資活動によるキャッシュ・フロー	△43,798	△2,530
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△35,610	△284,990
リース債務の返済による支出	△3,595	△3,736
株式の発行による収入	61,600	40,200
自己株式の取得による支出	—	△88,838
財務活動によるキャッシュ・フロー	22,394	△337,365
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	106,312	△265,776
現金及び現金同等物の期首残高	2,195,418	2,301,730
現金及び現金同等物の期末残高	2,301,730	2,035,954

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、生鮮流通プラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位: 千円)

	BtoBコマース サービス	BtoCコマース サービス	HRサービス	その他	合計
外部顧客への売上高	4, 979, 939	1, 002, 342	369, 391	—	6, 351, 673

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がありませんので、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、特定の顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位: 千円)

	BtoBコマース サービス	BtoCコマース サービス	HRサービス	その他	合計
外部顧客への売上高	5, 471, 053	1, 004, 869	390, 401	—	6, 866, 324

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がありませんので、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、特定の顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

当社グループは、生鮮流通プラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり純資産額	484.95円	505.21円
1株当たり当期純利益	43.10円	31.62円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	41.10円	30.88円

1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	191,731	142,798
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	191,731	142,798
普通株式の期中平均株式数(株)	4,448,242	4,516,691
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	216,852	107,822
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。